

2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
01010108

1. 計画名称

茅野市食育推進計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	3つの施策それぞれに、目標指標に対する現状値の達成率を見るなかでは、望ましい食生活を実践をしている人の増加、楽しく作っておいしく食べる、食育に関心のある人の増加の達成率が少し低い状況。ここを除けば、80%以上の達成率となっていて、おおむね順調な進捗状況。
今後の重点化施策番号	2	説明	茅野市は、特定健診を受診した方の内、高血圧、LDLコレステロールの方の割合が、県下19市中最も高い状況であるため、「望ましい食生活で、健康長寿を目指します。」を重点化施策として、食育をおとして若い世代からの対策を推進する。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	『ち』地域の食文化を大切に守り、伝えます	順調	親子料理教室を開催し、郷土料理の紹介をしたり、各種講座の調理実習に、郷土料理を取り入れ、家庭に取り入れてもらうようにした。もっと、レシピを紹介してほしいとの声をいただくなど、興味を持っていただけた。	郷土料理に関心はあるが、作り方がわからない、面倒、おいしくないなどの課題がある。食文化を継承していくには、受け入れることができる味にしていく必要がある。	郷土料理レシピ集を作成し、作り方をたえるとともに、受け入れられやすい食材の使い方や、いわれも一緒に伝えていく。
2	『の』望ましい食生活で健康長寿を目指します	おおむね順調	離乳食教室や、食生活改善推進員の養成、地区での食育活動により、自分の健康状態を知り、バランスの良い食事をしようとする人を増やすよう取り組んだ結果、離乳食教室の参加者や、食生活に興味関心を持つ人が増加した。	地区料理の依頼回数や、地区での栄養講話の依頼や、講座の参加者は減少傾向にある。地域に、食の大切さの情報発信を行う方法を考える必要がある。	ビーナネットや、ホームページを活用したり、食事ボランティアを通じて、生活習慣病の予防や、重症化予防のための、望ましい食生活の具体的な方法を伝えていく。
3	『し』食でコミュニケーションアップを図ります	おおむね順調	食育イベントを開催し、多くの市民に、食育を楽しく、おいしく学んでいただいたり、食品ロスのことに関心を持ってもらうことができた。親子料理教室、男性料理教室など、料理を楽しむ講座を開催した。	食育イベントの参加団体を増やし、内容をより魅力的なものにして、より多くの市民に食育をPRしていく必要がある。食育ということばや意味を知ってもらえるよう、学校や保育園、関係団体との連携を強めていく必要がある。	食育を広めるため、食育イベントの内容の充実と、各種講座や講話の機会に、食育プランの概要版を活用し、食育への関心を高める。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	茅野市食育推進委員会	高校生、大学生が朝食をとることができるようにするための対策。高血圧など、健康課題に対する分析の必要性の提案。高血圧対策として、減塩に対する取組では減塩食品を販売する協賛店を募る等の具体的な内容についてご意見があった。	いただいたご意見の中から、今後できることをピックアップして、計画的に進めていく。また、県でも減塩の取組等を進めているため、一体的に進められることがあるか、協議をしていく。
開催回数	1		
参加延べ人数	36人		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」